

令和5年度 学校評価 自己評価書（2学期）

1 学校の重点目標

- (1) 基礎的・基本的事項の定着および主体的に学ぶ態度と思考力、判断力、表現力の育成。
- (2) 自他の人権を尊重し、ぼかぼか言葉・行動を進んで実践できる児童の育成。
- (3) 安全に気を付けた行動ができる児童、体力づくりに積極的に取り組む児童の育成。
- (4) お互いに協力しながら、なりたい自分に向かって努力し続ける児童の育成。

2 課題と改善策

〈4段階評価〉

	評価項目	評価						評価結果と改善方策		
		職員			児童					
		①	②	③	①	②	③			
1 よく考え	(1) 個に応じた指導やICTを活用した指導 (2) 学ぶ楽しさを実感し、主体的に学び、対話や表現力向上をめざした指導 (3) 学習を見通す力の育成と学力の定着・向上のための指導 (4) 学習習慣と読書習慣の定着を図るための指導	2.7	2.8		3.8	3.6		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書中心の授業が多くなってしまった。効果的な活用方法を考える。 ・ 対話によって学びを深めることが難しい。実践を続けることにより力をつけていく。 		
2 素直で	(1) 人権意識と自他を尊重し認める感情の育成 (2) ぼかぼか言葉・行動や気持ちのよいあいさつ、良い反応の推進 (3) ボランティア活動、無言清掃、美しい環境づくりの推進 (4) 情報モラルを意識した情報活用能力の育成	3.3	3.2		3.7	3.4			<ul style="list-style-type: none"> ・ 人権週間の取組をその後の教育活動に生かしていく。 ・ ボランティア活動の呼びかけが不十分であり、取り組めていない児童が多数いた。 ・ ICTを活用する活動では、適宜情報モラルの指導を行っている。 	
3 ねばり強い	(1) 安心・安全に学校生活をおくる習慣の定着と安全な環境づくり (2) 規則正しい生活習慣の定着 (3) 感染症対策を踏まえた新しい生活スタイル (4) 体力づくり、健康づくりの習慣化	3.1	3.3		3.9	3.8				<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全点検後、早急に対応できている。 ・ 毎日はんかち・ちり紙調べをして、保護者にも呼びかけるがなかなか定着できていない。 ・ 持久走大会前の朝の体力づくりが充実していた。
4 平川の子	(1) キャリア教育（自己実現やよりよい社会の実現）の推進 (2) 仲間づくり（SST、SGE）や教育相談による積極的な生徒指導の推進 (3) いじめ・不登校への早期対応のためのチーム支援体制の確立 (4) まちづくり協議会、あいご会、PTA等との連携した行事運営や交流推進	2.9	2.9		3.4	3.4				
○	自己肯定感を高めるための取組の工夫	3.3	3.2					<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の良さを見つけたり、賞賛して自信を深めさせたりするようにしている。 		
○	4S運動（整理、すっきり整頓、スリム化、賞賛）の推進	3.1	3.1					<ul style="list-style-type: none"> ・ 机上整理を心がけている。 		
○	校務分掌業務の効率化、工夫、改善	3.0	3.3					<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度に向けた準備を始めている。 		
○	個人として、働き方改革を進める工夫や努力	3.0	3.5					<ul style="list-style-type: none"> ・ 定時退庁日を除いて、18:30 までの退庁を実践できている。 		
○	組織として、働き方改革を進める工夫や努力	2.9	3.4					<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全衛生部会で時間外勤務の報告や業務改善員に向けた情報共有をしている。 		
○	教育公務員として服務規律の厳正確保について高い意識をもった言動	3.4	3.6					<ul style="list-style-type: none"> ・ 連絡会等で服務について話題にしており、各々が自覚ある行動をとれている。 		

3 次学期に向けての取組

- 学力の定着・向上に向けて、主体的な学びの中で対話活動を多く取り入れたり、ICTを効果的に活用したりする。また、1年間の研修内容を確実に実践し、個々の資質を高めると共に、次年度に向け省察する。
- 体力づくりについて、目標設定や励まし、カードを活用した記録の伸びなどを伝え、自主的に運動しようとする態度を育てる。